2025 年 11 月 13 日

各　位

上場会社名　株式会社　加藤製作所
代表者　代表取締役社長　加藤　公康
(コード番号　6390)
問合せ先責任者　執行役員財務統括部長　柳原　秀匡
(TEL　03-3458-1130)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025 年５月 14 日に公表した 2026 年３月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．業績予想の修正

2026 年３月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年４月１日～2026 年３月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	57,000	1,700	1,200	1,200	105.89
今回修正予想(B)	57,000	△ 500	△ 1,000	200	17.42
増減額(B-A)	―	△ 2,200	△ 2,200	△ 1,000	
増減率(%)	―	―	―	△83.3	
（ご参考） 前期実績 (2025 年３月期)	52,932	903	1,401	△ 6,033	△ 514.48

２．修正の理由

当中間連結会計期間につきましては、2026 年３月期を初年度とする中期経営計画のテーマに掲げた『飛躍、そして次の時代へ』のもと「企業価値の向上」「成長戦略の推進と有効投資」「収益性の更なる向上」「サステナビリティ経営の実践」の各基本方針に沿った施策を推進してまいりました。

当連結会計期間の通期売上高につきましては、主要部品の供給制約が解消した高価格帯の大型ラフテレーンクレーンの販売が本格化したことに加え、製品全般の販売価格の改善と並行し、油圧ショベルの一部製品についての弾力的な販売施策を継続することにより前回予想数値は確保できる見通しです。

一方、足元において国内外市場における建設機械の大幅な需要回復は見込めず、今後は資材や人件費のさらなる高騰が想定されます。

また、今年度は海外ポートフォリオ健全化の進捗があることを踏まえ、現下の課題として認識している棚卸資産の適正化により、生産調整に伴う製造原価の上昇や、補用部品等の長期在庫に対する一過性の評価損計上に伴い損益面は、前回予想を下回る見込みとなりました。

しかしながら、2025 年 10 月 29 日付「(開示事項の経過) 連結子会社の持分譲渡完了および特別利益の計上に関するお知らせ」にて公表しました通り、連結子会社である加藤（中国）工程机械有限公司の持分譲渡による売却益の計上が予定されていることから親会社株主に帰属する当期純利益につきましては上記の棚卸資産適正化による影響を織り込んだうえでも黒字を維持できるものと見込んでおります。

なお、今回の業績予想修正に伴う配当予想の修正はありません。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以　上